東京都教育委員会
授業改善推進拠点校事業　最終報告会

「児童・生徒の学力向上を図るための調査」結果を生かした授業改善について

練馬区立上石神井中学校の取組事例

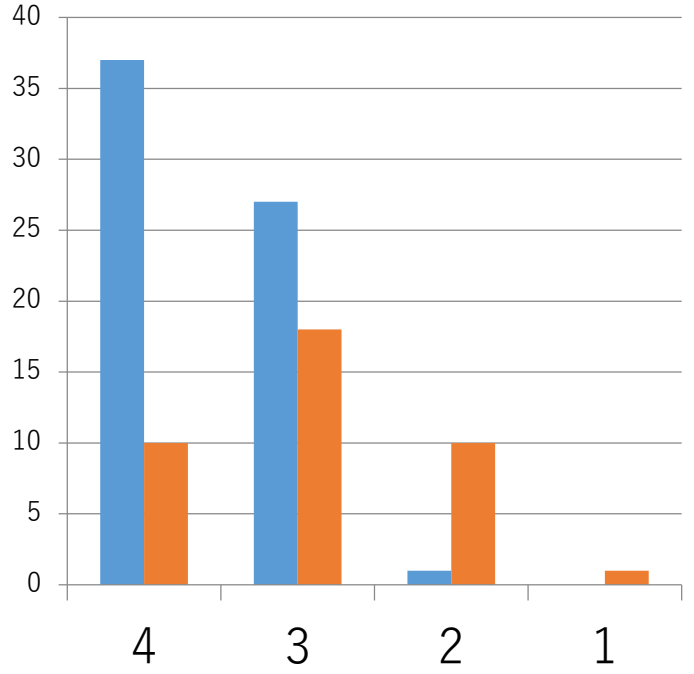
1　学力調査等に基づいた自校の課題の分析

数学	令和３年度	令和４年度	令和５年度
問題	８（３）	７（１）	７（２）
出題の趣旨	データの傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができる	データの傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができる	複数の集団のデータの分布の傾向を比較して捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができる
正答率	11.3％（都11.2％）	42.4％（都47.0％）	60.6％（都36.5％）
都との差	+0.1ポイント	－4.6ポイント	＋24.1ポイント

1　学力調査等に基づいた自校の課題の分析

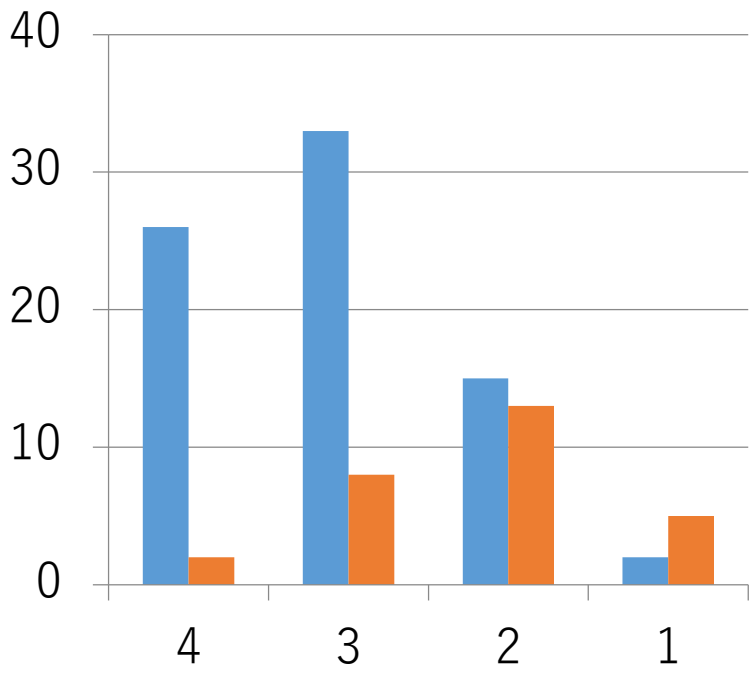
「全国学力・学習状況調査」と「児童・生徒の学力向上を図るための調査」の相関関係を分析」

4 当てはまる　3 どちらかといえば当てはまる　2 どちらかといえば当てはまらない　1 当てはまらない



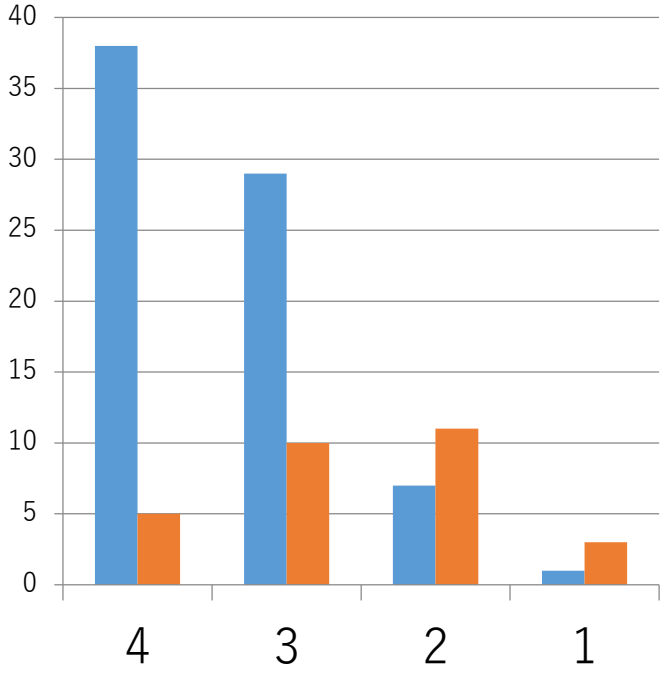
国2二×都9(2)

都9(2)「分かっていることと求めることを考えて問題に取り組んでいる。」



数6(2)×都4(2)

都4(2)「難しいと感じる問題でも、最後まであきらめずに取り組んでいる。」



英7(1)×都4(14)

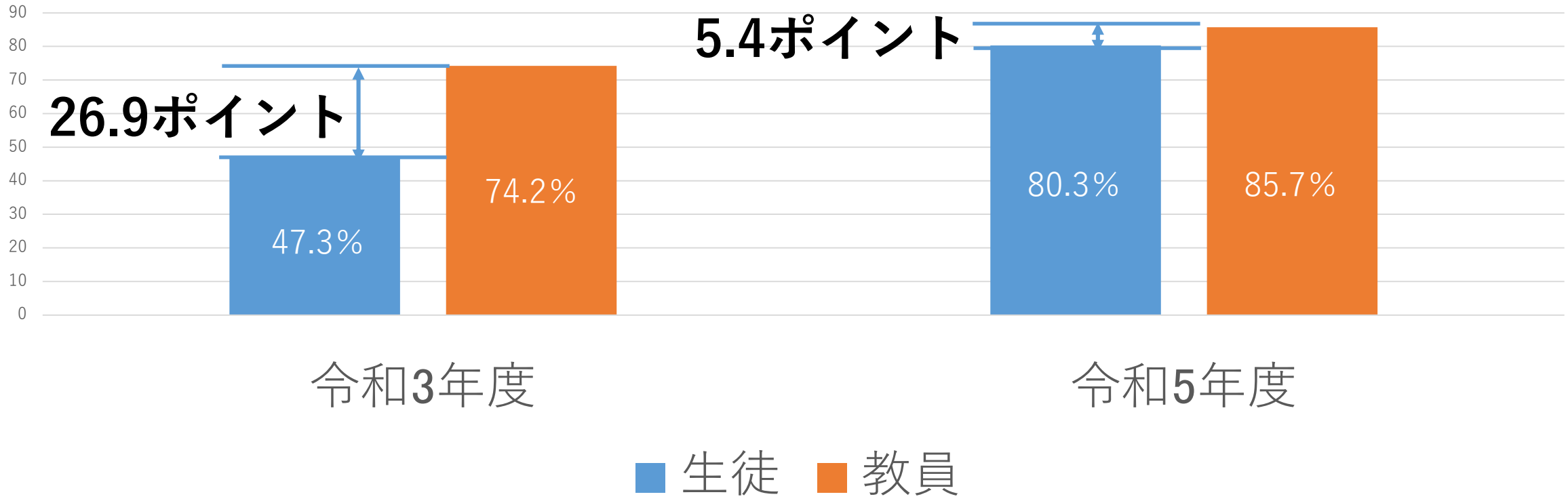
都4(14)「どうしてそうなるのかという理由を考えながら学習している。」

正答生徒
誤答生徒

1　学力調査等に基づいた自校の課題の分析

生徒と教師との意識の差を分析

都12(5)「授業では、自分が理解したことや考えたことを他の人や先生に説明する時間があると思う。」



授業で重点的に取り組む項目（重点15項目）の決定

①　国調査の各教科の結果からS-P表を確認し、課題がある問題を抽出

②　①に正答した生徒と誤答した生徒について、都調査項目の肯定的な回答の割合が20ポイント以上差があるもの（15項目）を抽出

授業で重点的に取り組む項目（重点15項目）の決定

①　国調査の各教科の結果からS-P表を確認し、課題がある問題を抽出

②　①に正答した生徒と誤答した生徒について、都調査項目の肯定的な回答の割合が20ポイント以上差があるもの（15項目）を抽出

1　学力調査等に基づいた自校の課題の分析

P曲線が全国平均よりも上にある問題（正答生徒数の割合が全国正答率よりも低い問題）を課題がある問題として抽出

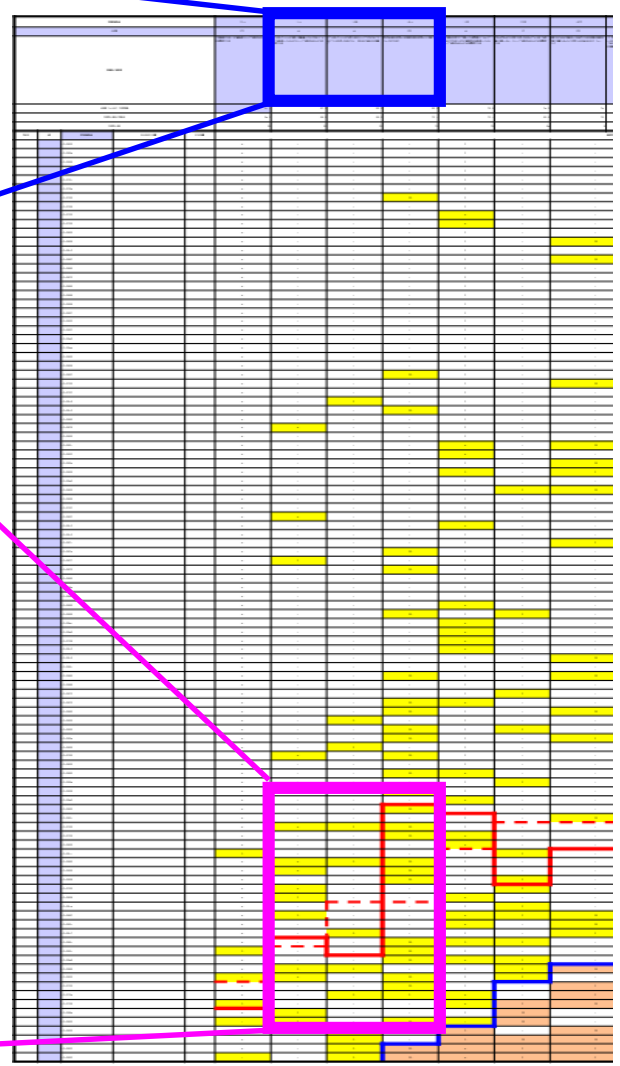
国語（ＳＰ表）

１－	１四	４－
Ａ	Ａ	(3)
インタビューの前に準備したメモについて説明したものとして適切なものを選択する	インタビューのまとめとしてどのようなことを述べるのか、自分の考えを書く	歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直す（いひける）
1	1	1
1	1	99
1	1	1
4	2	99
1	1	99
1	1	1
1	1	1
4	0	99
4	1	99
1	1	99
4	1	1
2	1	1
1	1	1
3	1	1
1	1	1
1	0	1
1	1	99
1	1	99
1	1	99

P曲線

全国平均

【国語のS-P表】



授業で重点的に取り組む項目（重点15項目）の決定

①　国調査の各教科の結果からS-P表を確認し、課題がある問題を抽出

②　①に正答した生徒と誤答した生徒について、都調査項目の肯定的な回答の割合が20ポイント以上差があるものを抽出

授業で重点的に取り組む項目（重点15項目）

３(5) 学校の学習で人に負けたくないから。	４(2)難しいと感じる問題でも、最後まであきらめずに取り組んでいる。	４(9) 他の人と意見がちがったときは、質問をして相手の考えを確かめている。	４(14)どうしてそうなるのかという理由を考えながら学習している。	６(2) 他の人の話を聞くときは、メモを取って理解するようにしている。
７(3) まちがえた計算問題は、どこでまちがえたのかを考えている。	８(1) 数学で学習する言葉や公式は、見ないでも言えるようにしている。	８(2) 数学で学習する言葉や公式の意味を理解しようとしている。	９(1) 前に同じような問題をやったことがあるかや、今まで学習した問題とどこがちがうのかを考えている。	９(2) 分かっていることと求めることを考えて問題に取り組んでいる。
９(3) 問題文の内容を図や表、グラフに表して考えている。	９(5) まちがえた文章問題は、どこでまちがえたのかを考えている。	１０(3) 教科書を読むなどして、授業でこれから学習することの見通しをもつようにしている。	１０(5) 教科書やドリルの問題に取り組むなどして、学習したことを確実にできるようにしている。	１２(2) 授業では、前の時間までに学習した内容と結び付けて考える時間があると思う。

1　学力調査等に基づいた自校の課題の分析

国調査や校内の定期考査等で正答率が上がっている生徒に対して、学習の進め方について聞き取り調査を実施

分かったこと

- 対象の生徒は、より効果的に学習内容を身に付けるために学習方法を工夫し、その工夫を自覚していること
- 家庭学習は意義を理解して行っていること

2　課題の解決に向けた手だての明確化

指導１　重点15項目を意識した指導

指導２　生徒の学習状況を適切に把握し、実態に合った効果的な指導

3　手だての実践と検証

授業観察の視点

①全国学力テスト・都学力アンケートに基づく「他の授業との理解度関係が高いもの」

番号	内容	授業での取り組み・備考
①	数学で学習する言葉や公式は、見ないでも言えるようにしている。【8(1)】	
②	問題文の内容を図や表、グラフに表して考えている。【9(3)】	※反対に図や表、グラフを文章にさせる。
③	学校の学習で人に負けたくないから。【3(5)】	
④	他の人と意見がちがったときは、質問をして相手の考えを確かめている。【4(9)】	意見共有の機会を積極的に設ける。
⑤	前に同じような問題をやったことがあるかや、今まで学習した問題とどこがちがうのかを考えている。【9(1)】	毎時の冒頭に前時の振り返りを行うとともに、単元の最終時に振り返りシートによるまとめを行う。
⑥	授業では、前の時間までに学習した内容と結び付けて考える時間があると思う。【12(2)】	
⑦	数学で学習する言葉や公式の意味を理解しようとしている。【8(2)】	
⑧	他の人の話を聞くときは、メモを取って理解するようにしている。【6(2)】	ワークシートに他の意見、メモ欄を設ける。
⑨	分かっていることと求めることを考えて問題に取り組んでいる。【9(2)】	単元の１時間目に基礎用語を理解し、その知識を活用して設問を考察、予想させる。
⑩	まちがえた計算問題は、どこでまちがえたのかを考えている。【7(3)】	
⑪	教科書を読むなどして、授業でこれから学習することの見通しをもつようにしている。【10(3)】	9と同様
⑫	まちがえた文章問題は、どこでまちがえたのかを考えている。【9(5)】	
⑬	教科書やドリルの問題に取り組むなどして、学習したことを確実にできるようにしている。【10(5)】	eライブラリなどを積極的に活用していく

3　手だての実践と検証

「ふりかえりシート」

社会

第２部　第２章　第２節　「ヨーロッパ州」振り返りシート　P.66～81

○1年（　）組（　　）番　氏　名（　　）

○「ヨーロッパ州」の毎授業のまとめ・振り返り　※自分の言葉で説明してみよう！

①白地図・重要語句	学習課題	「ヨーロッパ州」の学習の初めに重要語句と国名・地名を確認しよう！
②P.68～69 ヨーロッパ州の自然環境	学習課題	ヨーロッパ州の地形や気候の特色は何だろうか。
	説明	ヨーロッパは山が少なく、海に面している。偏西風の影響を受けやすいが、1年を通して気温差が小さい。
③P.70～71 ヨーロッパ文化の共通性と多様性	学習課題	ヨーロッパの文化には、どのような共通性や多様性があるか。
	説明	ヨーロッパの中でも、民族・宗教・言語が違う。だが、宗教と言語はほとんど同じ。また、民族では大きく、ゲルマン系・ラテン系・スラブ系のように分けられ、宗教でも大きく違う。
④P.72～73 ＥＵの成り立ちとその影響	学習課題	国境を越えた結びつきが強まることにより、人々の生活はどのように変わったか。
	説明	国境を自由に行き来できるようになったことで、仕事場が広がり、利益が増えたり、経済活動が盛ん。
⑤P.74～75 ヨーロッパの農業	学習課題	EUによる統合によって、農業はどのような変化が生じたか。

数学

★学びの足跡　1年★　　3章　1次方程式

●単元の目標
・方程式とその解の意味について理解する。
・等式の性質や移項を理解し、１次方程式が解けるようになる。
・１次方程式を利用して、問題を解決することができる。

●分かったこと・大切な考え方など

小単元１　方程式や解をその意味を理解し、等式の性質を使って方程式を解けるようになる。(P98～103)

方程式＝文字の値によって成り立ったり成り立たなかったりする等式
解＝方程式を成り立たせる文字の値
解く＝解を求めること。
方程式の解き方①文字に値を代入する。
②等式の性質を使う。

●もっと知りたいこと・よく分からないこと

小単元２　１次方程式を移項を使って解けるようになる。(P104～106)

●もっと知りたいこと・よく分からないこと

小単元３　いろいろな方程式の解き方を理解し、解けるようになる。(P107～109)

●もっと知りたいこと・よく分からないこと

小単元４　比例式の性質を使って比例式を解くことができる。(P110～111)

●もっと知りたいこと・よく分からないこと

「学習のすすめ」

生徒向け　**家庭学習のすすめ**

1．はじめに

中学生のみなさんにとって学習の基本となるのは、日々の「授業」です。授業では、新しいことを学びます。新たな発見や気付きがあったり、問題が解けたりすれば、学習することが楽しくなります。

逆に、分からないことが多くなれば、学習に対する意欲が低くなり、授業が楽しくないものになるかもしれません。

人間の脳は、忘れるようにできています。授業中に「解けた！」という問題も、1か月、2か月後、テスト勉強でワークに取り組もうとすると「？」、取り組めたとしても、解くのにかなり時間がかかってしまった。こんな経験ありませんか。

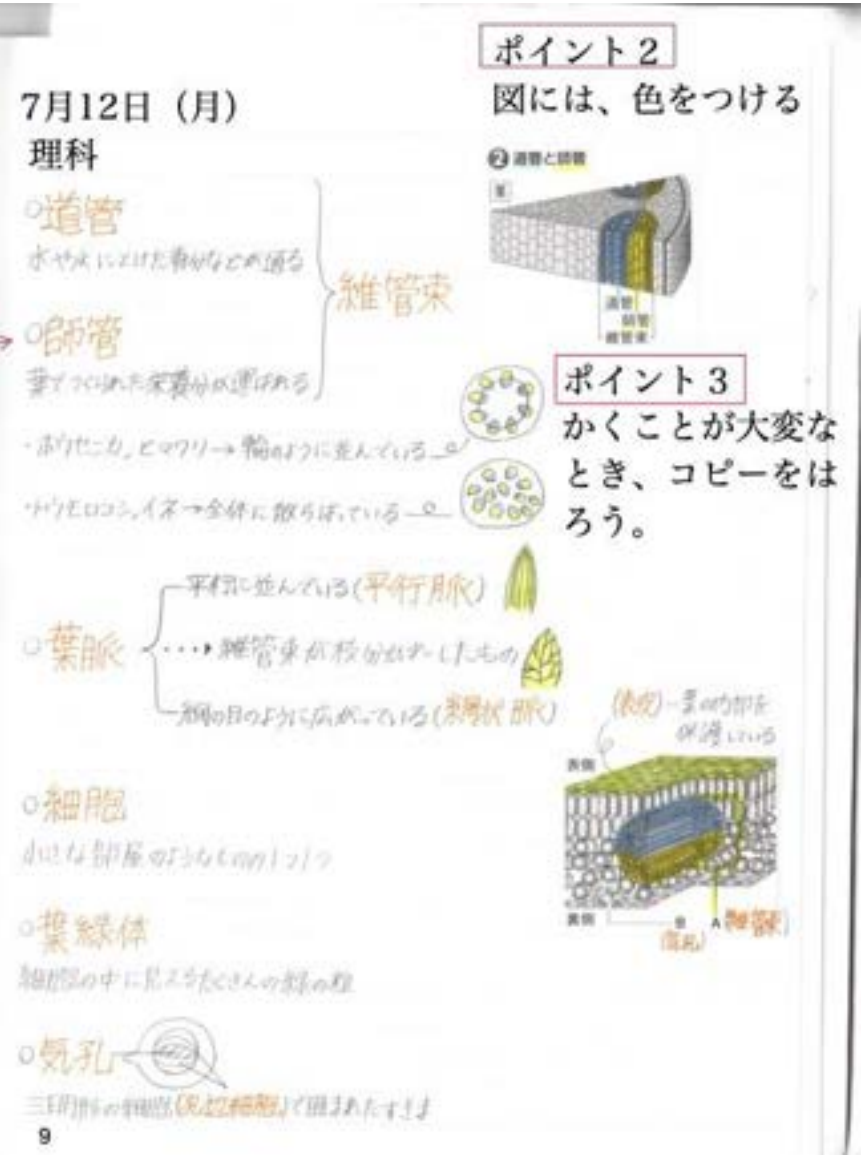
「1回目の学習」と「2回目の学習」との間に開き（日数がたつ）があると、それだけ記憶するのに労力がかかるということです。

では、「効果的な復習」は、どうしたらよいか。

家庭学習ノートの例

ポイント１
日付、やった教科をかきましょう。

ポイント４
黒１色だけでなく、大事な言葉をオレンジで書くことで、テスト前に赤シートをかぶせ復習できる。

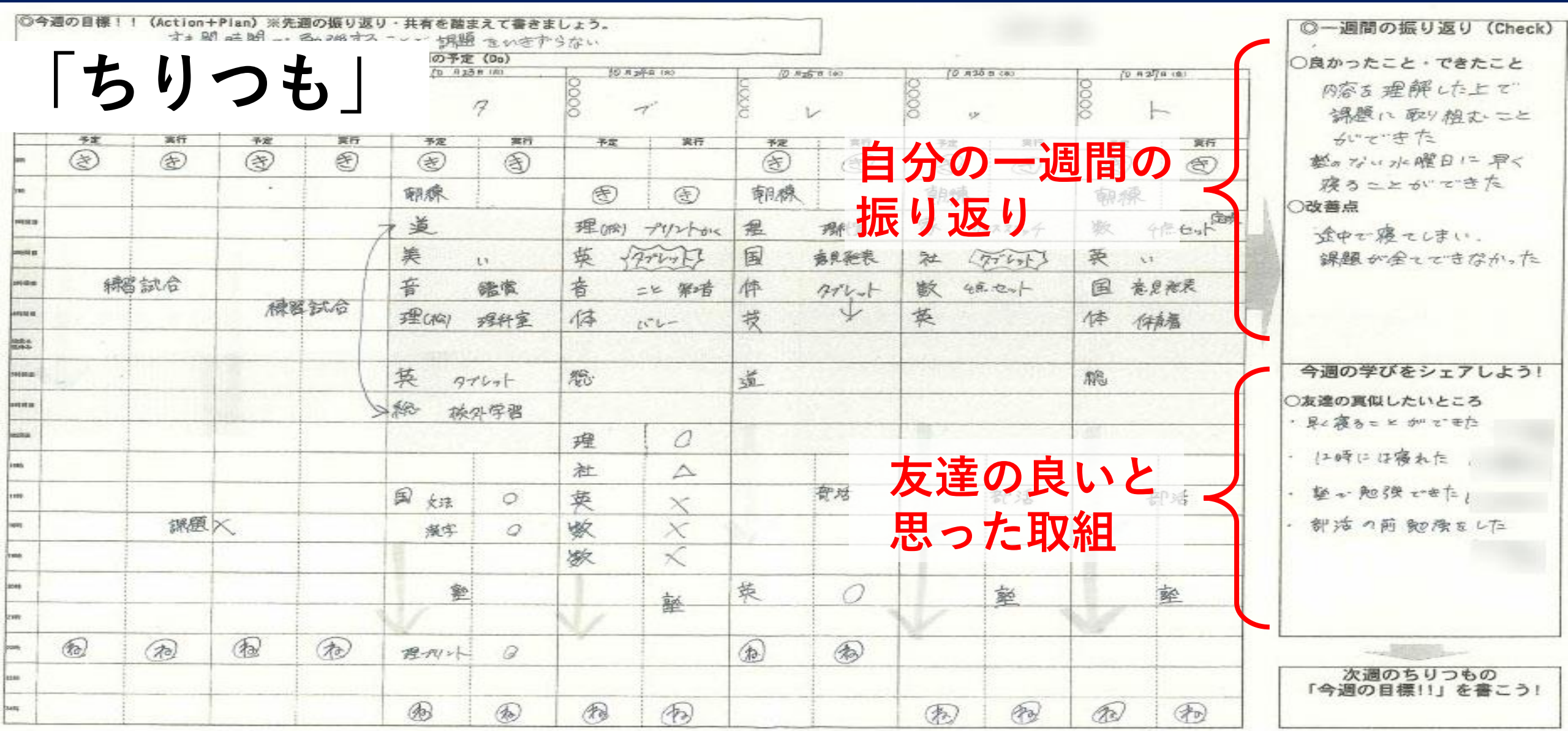


ポイント２
図には、色をつける

ポイント３
かくことが大変なとき、コピーをはろう。

3　手だての実践と検証

「ちりつも」

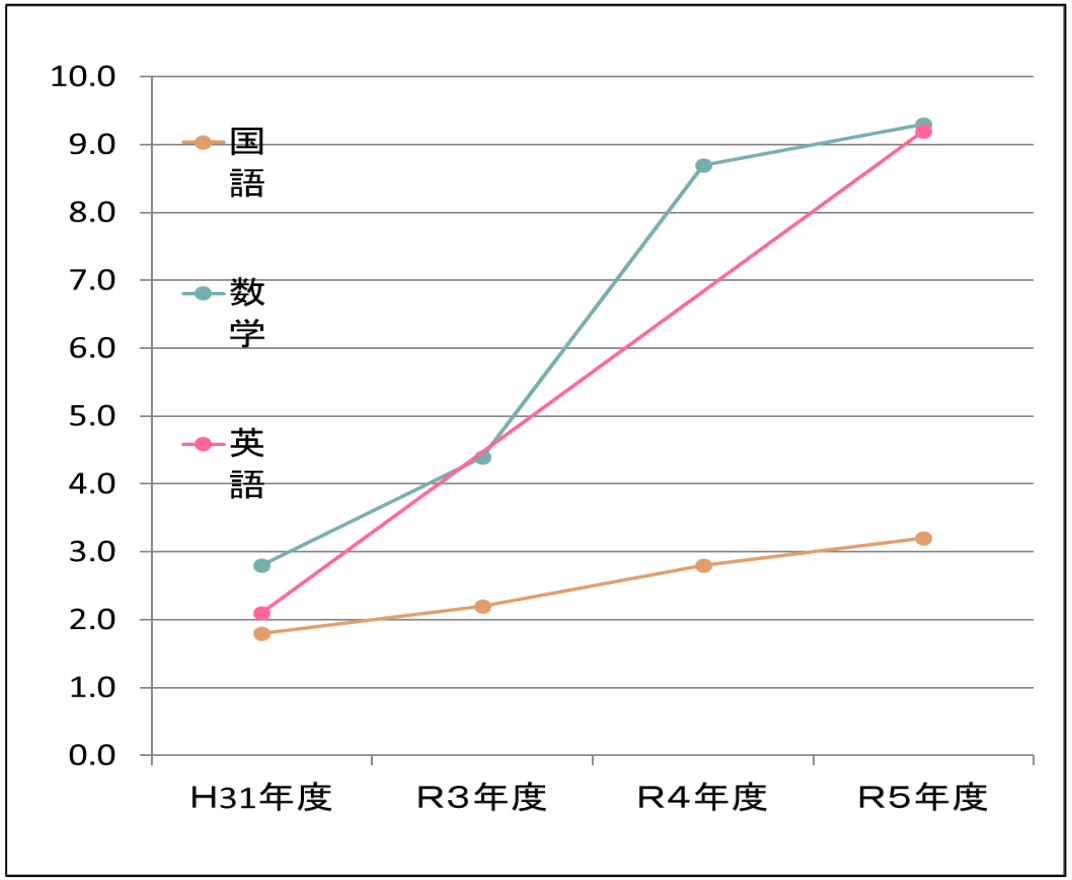


令和５年度　全国学力調査における本校の結果について

〈中学校調査〉

		H31年度調査	R3年度調査	R4年度調査	R5年度調査
		貴中学校の結果	貴中学校の結果	貴中学校の結果	貴中学校の結果
国語	平均正答率	75.0	67.1	72.1	73.3
	平均正答数(問)	7.5 ／ 10	9.4 ／ 14	10.1 ／ 14	11.0 ／ 15
数学	平均正答率	63.1	61.9	60.7	60.7
	平均正答数(問)	10.1 ／ 16	9.9 ／ 16	8.5 ／ 14	9.1 ／ 15
英語	平均正答率	58.6			55.3
	平均正答数(問)	12.3 ／ 21			9.4 ／ 17

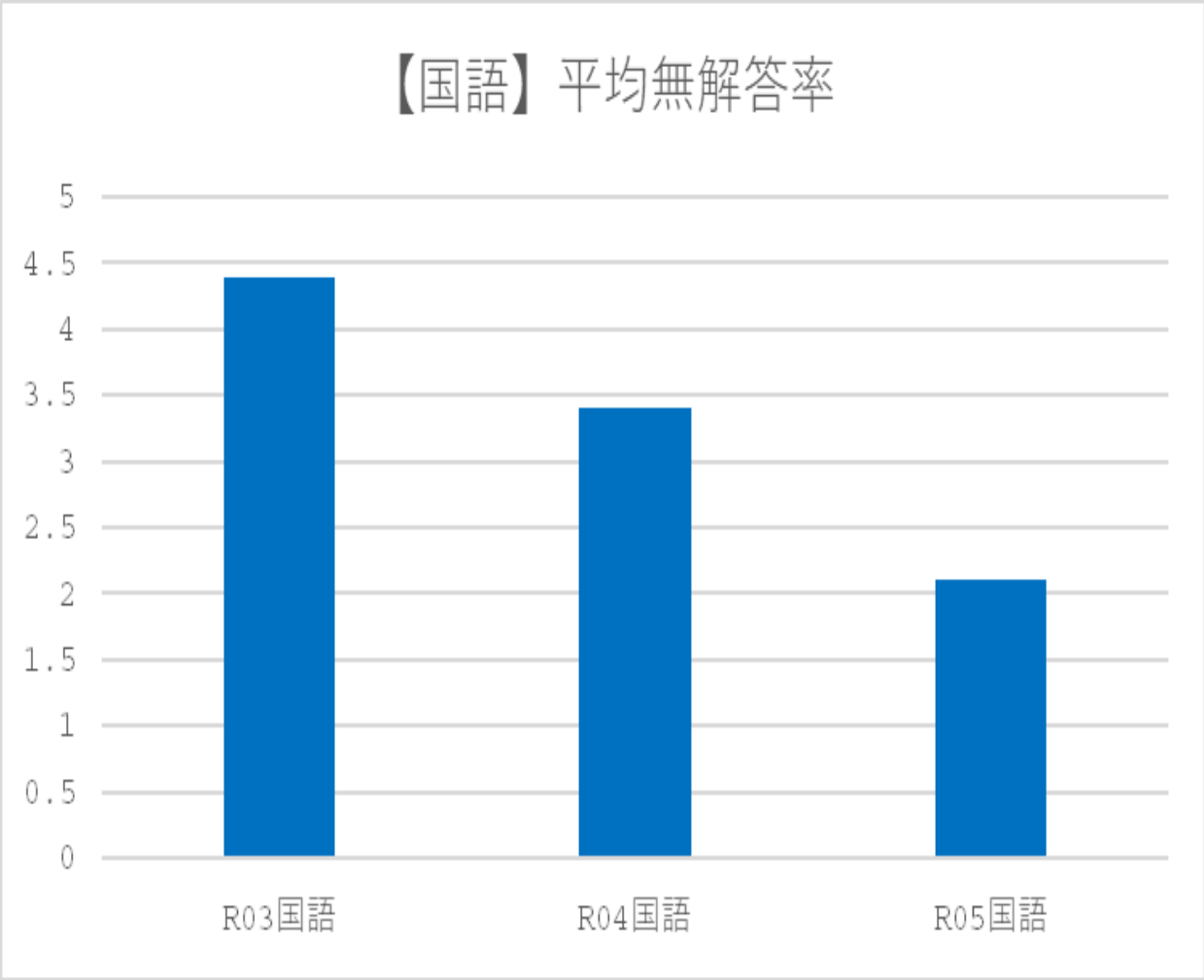
【全国（公立）平均正答率との差】

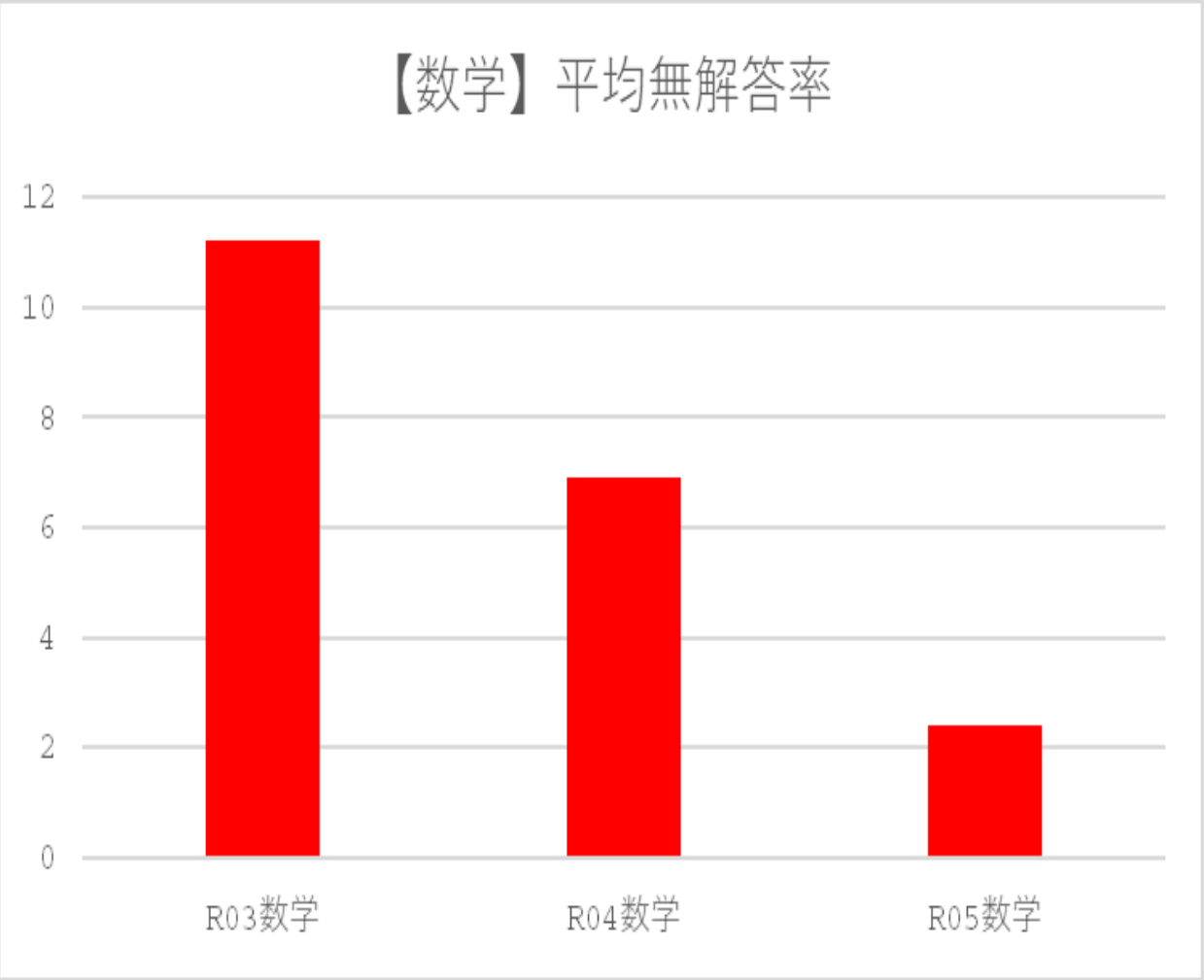


令和５年度　全国学力調査における本校の結果について

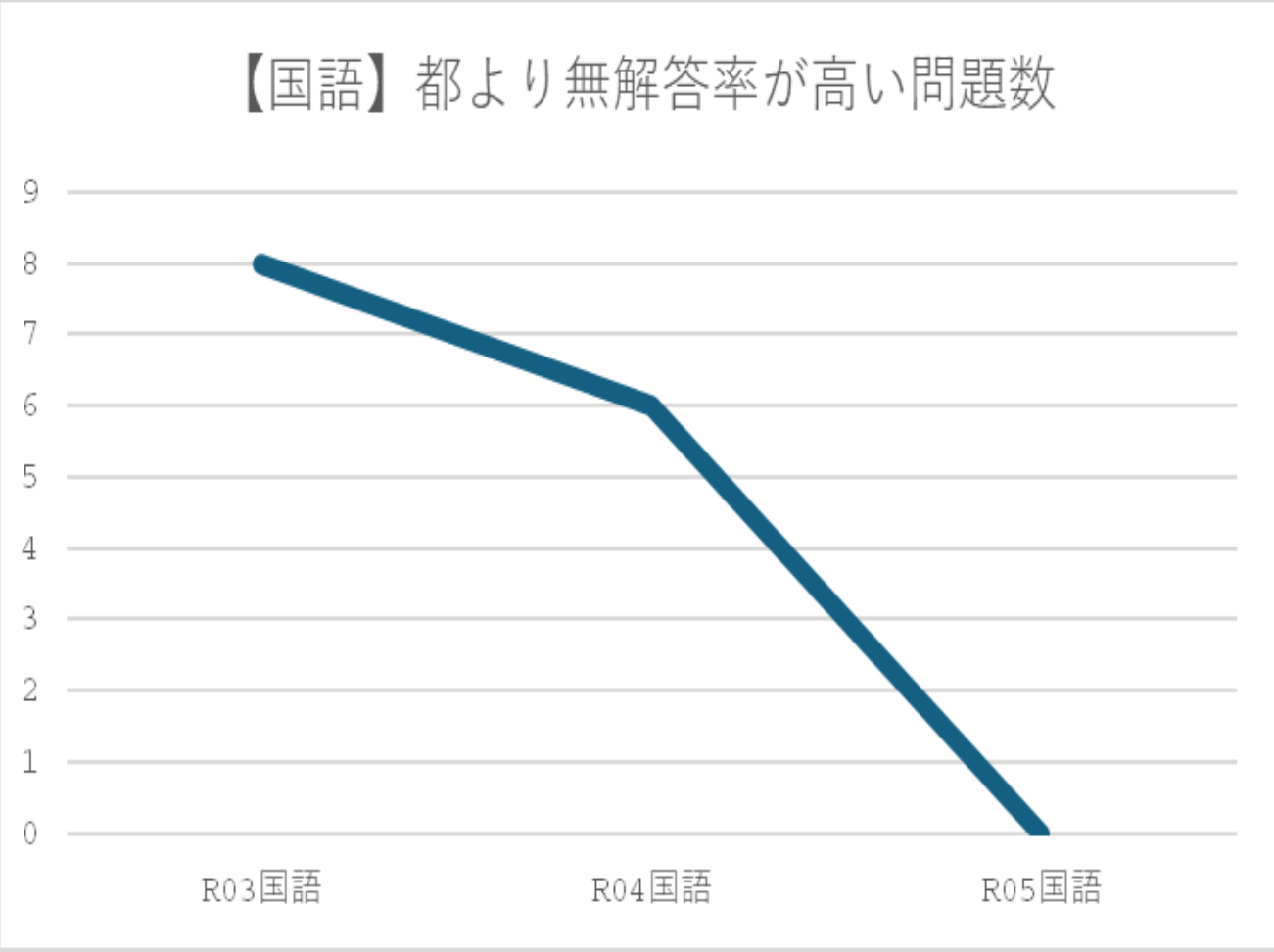
＜中学校調査＞		平成31年度調査			令和３年度調査			令和４年度調査			令和5年度調査		
		貴中学校の結果			貴中学校の結果			貴中学校の結果			貴中学校の結果		
国語	標準化得点	101			101			101			101		
	平均正答数(問)	7.5	／	10	9.4	／	14	10.1	／	14	11.0	／	15
数学	標準化得点	101			102			103			104		
	平均正答数(問)	10.1	／	16	9.9	／	16	8.5	／	14	9.1	／	15
英語	標準化得点	101									104		
	平均正答数(問)	12.3	／	21							9.4	／	17

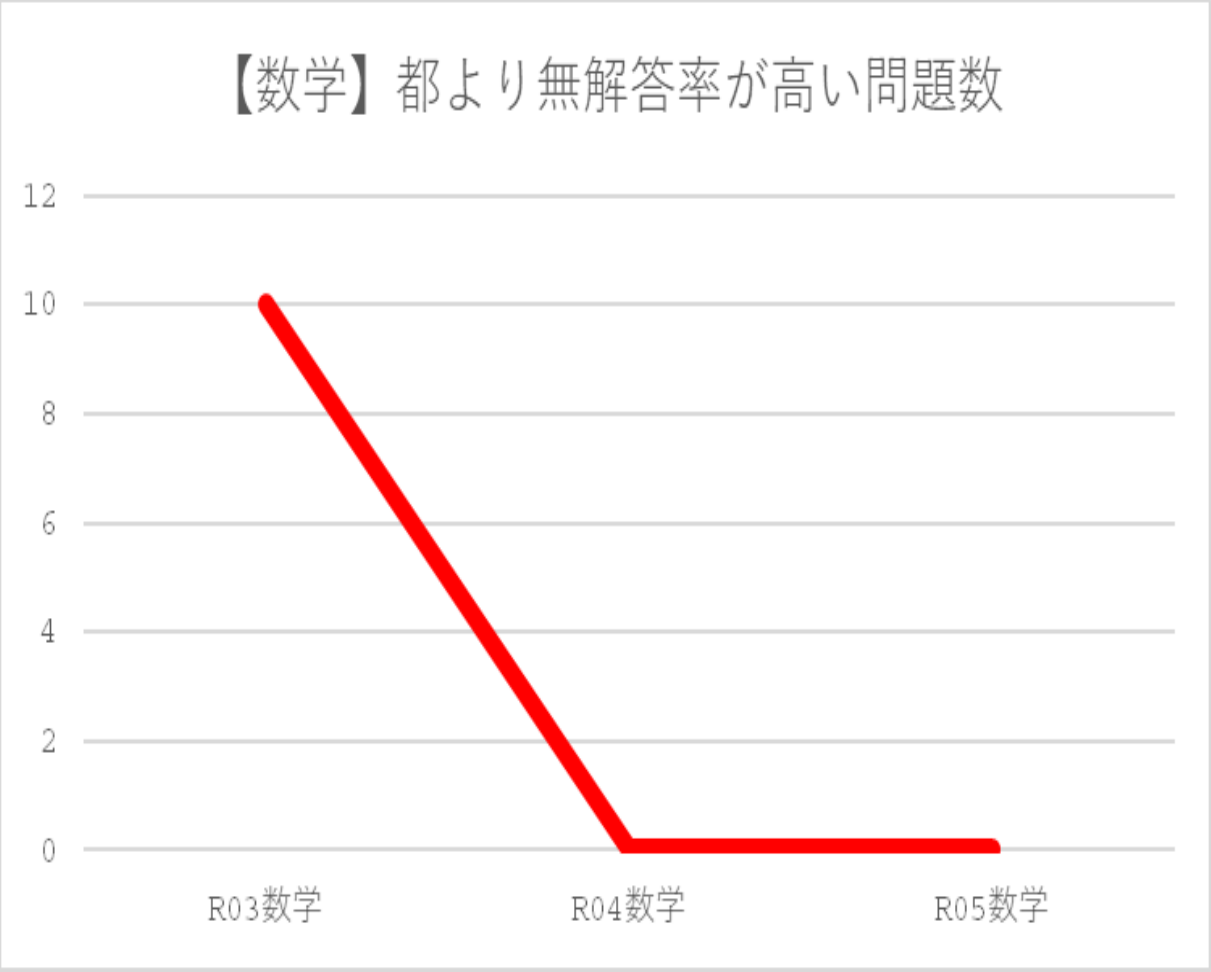
無解答率の改善


【国語】平均無解答率
5
4.5
4
3.5
3
2.5
2
1.5
1
0.5
0
R03国語
R04国語
R05国語


【数学】平均無解答率
12
10
8
6
4
2
0
R03数学
R04数学
R05数学

無解答率の改善


【国語】都より無解答率が高い問題数
9
8
7
6
5
4
3
2
1
0
R03国語
R04国語
R05国語


【数学】都より無解答率が高い問題数
12
10
8
6
4
2
0
R03数学
R04数学
R05数学

4　成果と課題

成　果

●正答率は着実に伸びていることから、学力が付いてきている。
●無解答率の低さから、生徒の取組の姿勢の改善がみられる。
●教員の授業改善に取り組む意識が変化した。

課　題

●比較できるデータやツールが増えて分析が可能となったことにより
- 取り上げられる項目や組合せは、ほぼ無限にあるので、学校の実態に合わせて、どれを取り上げるのがよいか的確に判断しなくてはならないこと。
- 表計算などの分析ツール活用のための教員のスキルアップ

● 引き続き、正答率等が伸びている生徒から聞き取りを行い、そこで学んだものを手だてとして還元していく。

東京都教育委員会
授業改善推進拠点校事業　最終報告会

「児童・生徒の学力向上を図るための調査」結果を生かした授業改善について

練馬区立上石神井中学校の取組事例